

フィリピンでチクングニア熱が流行

2013年1月26日 ProMED 情報(Manila Standard Today)



サマール州保健省(DOH)は、チクングニアウイルス感染に注意するように警告し、地方自治体にヤブ蚊の駆除を行う様に勧めています。

同州 Villareal の Guintarcan 地区で、発熱、発疹、関節痛を訴える 28 名の患者のうち、10 名が、ネッタイシマカ *Aedes aegypti* とヒトスジシマカ *Aedes albopictus* に刺されて媒介されるチクングニアウイルス感染症と確定診断されました。

また、熱帯医学研究所は、Villareal でも Banquil 地区と同様の症状を訴えている他の 235 名の患者の調査を行っています。

保健省は、サマール州、ラグナ Laguna 州、パンガシナン Pangasinan 州、サランガニ Saranggani 州、マニラ首都圏で、チクングニア熱の確定患者を報告しています。死亡患者の報告はありませんが、感染拡大の防止対策を実施しています。

〔ProMED 調整者〕

この何日間で、Villareal でチクングニア熱の患者が 200 名以上発生しているのであれば、大流行が始まったように思われます。フィリピンでは、昨年、さまざまな地域で散発的な流行がありました。また、1954 年、1956 年、1968 年、1985 年から 1986 年にかけて、主に中央および南部地域で散発的な流行が起こっており、チクングニア熱は、疑いなく風土病になっています。予防ワクチンはないので、予防措置は蚊の駆除と蚊に刺されないことです。